

事業評価書

補助事業名	教育文化施設:第九小学校改修工事				
補助事業者名	武蔵村山市				
実施場所	第九小学校(学園一丁目85番地の1)				
補助事業の成果の目標	<p>第九小学校は昭和54、55年に建設し、建設後35年余り経過しているため建物の老朽化が著しい。特に建具の老朽化が激しく、既存ゴムパッキンの摩耗等による雨水の漏水が起り、隙間風も多く、また開閉が困難な箇所が多数ある。また、外装や屋上笠木も劣化して、破片が落下することがあり、このまま放置すると児童が怪我をしかねない状況である。</p> <p>このことから、建具、外壁、屋上笠木の改修を行うことにより、児童の利便性及び安全性を高め、教育環境の改善を図るものである。</p> <p>【参考指標】 第九小学校児童数299人(平成28年4月1日現在)</p>				
補助事業の内容	校舎窓枠等建具改修				
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成29年度				
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度 予定	計
	事業費	円 3,434,400	円 47,304,000	円 62,300,000	円 113,038,400
	交付金額	円 2,000,000	円 45,000,000	円 20,000,000	円 67,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 改修後にアンケートをした結果、「サッシの開閉が軽くなり、室内換気が容易になった」との回答が得られ、児童の学習の場である学校教育における教育環境の改善が図られ、児童が快適に教育を受けられるようになったことが確認できた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・工事中の看板に掲載した。 ・事務室受付に補助事業であることを明示した。 ・市ホームページに掲載した。 ・「教育むさしむらやま」に掲載した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	翌年度は、第二期工事を予定しており、本年度と同様に、騒音の影響が少なく施工性もよい、経費的にもメリットがある「カバー工法」を採用する予定である。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				